

科目名	PAテクニック実習		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	様々なイベント内容の把握や、実践的な総合技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月16日	授業の概要説明、チーム分け、チーム打ち合わせなど			
2	10月23日	チーム打ち合わせ、プランニング			
3	10月30日	仕込み図、回線表など、資料作成			
4	11月6日	技術復習、作業確認			
5	11月13日	イベント①シュミレーション			
6	11月27日	イベント②シュミレーション			
7	12月4日	イベント③シュミレーション			
8	12月11日	イベント①本番			
9	1月22日	イベント②本番			
10	1月29日	イベント③本番			
11	2月5日	反省会、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	66時間中 23時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	業界マナー		担当講師	千葉 彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー/サウンド・ステージ専攻	授業形態	講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	言葉遣い、身だしなみなどを身に付け、周囲とのコミュニケーション法や社会人としてのマナーを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス / ビジネスマナーがなぜ必要なのか？			
2	10月17日	敬語について			
3	10月24日	敬語について-復習 / 日常的に使う言葉、業界特有の敬語や言葉遣いについて			
4	10月31日	雑談のマナーについて(上司や目上の方とのコミュニケーション)			
5	11月7日	挨拶について			
6	11月28日	身だしなみについて			
7	12月5日	報告・連絡・相談について			
8	12月12日	練習問題			
9	1月23日	電話、メールのマナー・ルールについて			
10	1月30日	業界マナーについて			
11	2月6日	車の座席について・応接や会議室の座席について			
12	2月13日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	放送音声		担当講師	福岡博美	
講師実務経験	音響/録音エンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	「音声」の重要性と収録方法による違い/音声エンジニアに必要である知識を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス/放送音声エンジニアとは			
2	10月17日	ロケ音声機材レコーダーとガンマイクについて			
3	10月24日	撮影同録現場の実際について/			
4	10月31日	ガンマイクでインタビュー/ナレーションを録音する			
5	11月7日	ラベリアマイクで録音する シーンの違いによる仕込み方			
6	11月28日	放送音声、TVの取材におけるスタイル			
7	12月5日	TV音声エンジニアの仕事の流れ			
8	12月12日	映画の録音エンジニアの仕事			
9	1月23日	Pre Fader & Post Faderの使い分け/32bitフロートレコーディングの現状			
10	1月30日	録音データのバックアップ方法/WLの種類			
11	2月6日	音声エンジニアが使用するマイク色々			
12	2月13日	まとめと試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材コンソールトレーニング		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	今まで学習した音響全般の復習と、更に技術向上を目指した知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月11日	音響基礎の復習 デシベル			
2	10月18日	音響基礎の復習 デジタル			
3	10月25日	音響基礎の復習 アナログ卓とデジタル卓の各機能			
4	11月1日	音響基礎の復習 マイクの特性と音の違い			
5	11月8日	音響システムの構築と、システムチューニングについて			
6	11月29日	音源の音域と特徴について			
7	12月6日	イコライザーやコンプレッサーを使った音作りについて			
8	12月13日	ミックスバランス(音の配置)の考え方について			
9	1月24日	音楽ジャンルによるミックスの違い ポップス、ロック			
10	1月31日	音楽ジャンルによるミックスの違い ジャズ、クラシック			
11	2月7日	音楽ジャンルによるミックスの違い 演歌、民謡			
12	2月14日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PLOT制作Ⅱ		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	様々な状況を想定した、小規模から大規模の音響プランニングを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月11日	定期公演の資料のまとめ			
2	10月18日	資料の作成に必要な内容の復習			
3	10月25日	イベント会場の情報収集と打ち合わせ資料、準備について			
4	11月1日	ゲストオペレーターとの打ち合わせ資料、準備について			
5	11月8日	クライアントやプロモーターとの打ち合わせ資料、準備について			
6	11月29日	小規模の音響プラン、トークショー、インスタライブ等			
7	12月6日	中規模の音響プラン ライブハウス、ブライダル、式典、講演会等			
8	12月13日	大規模の音響プラン ワンボードミキサーの転換プラン、プロット確認と回線プラン			
9	1月24日	大規模の音響プラン ワンボードミキサーの転換プラン、転換プランと機材リストの作成			
10	1月31日	大規模の音響プラン ツーボードミキサーの転換プラン、プロット確認と回線プラン			
11	2月7日	大規模の音響プラン ツーボードミキサーの転換プラン、転換プランと機材リストの作成			
12	2月14日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽研究		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドコース		講義
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	様々な音楽ジャンルについて習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス。クラシックについて			
2	10月19日	民族音楽について			
3	10月26日	ラテンについて			
4	11月2日	フォーク、ロックンロールについて			
5	11月9日	ブラックミュージックについて①			
6	11月30日	ブラックミュージックについて②			
7	12月7日	ブラックミュージックについて③			
8	12月14日	ポップス、EDMについて			
9	1月18日	ニューエイジ、インストルメンタルについて			
10	1月25日	ロックについて①			
11	2月1日	ロックについて②			
12	2月8日	ロックについて③			
13	2月15日	筆記試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	13時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	著作権論		担当講師	鈴木雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	音楽業界のしくみや流通戦略及び著作権収入及び著作権法での問題点を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス。コンサート制作及びコンサート本数・動員数について			
2	10月19日	音楽業界の代表的な職種及び不況音楽業界について			
3	10月26日	メジャーレーベル及びアーティスト活動の種類について			
4	11月2日	音楽創造サイクル及び音楽CDに関わる人			
5	11月9日	音楽業界の仕組みについて			
6	11月30日	アーティストの発掘及びCDが出来るまでの詳細について			
7	12月7日	著作隣接権及び著作権用語について			
8	12月14日	著作権と知的財産権、著作権と音楽出版社について			
9	1月18日	アーティストのギャラ構造及び著作権問題(コピー・ネット・その他)について			
10	1月25日	アーティストの著作権収入計算方法について①			
11	2月1日	アーティストの著作権収入計算方法について②			
12	2月8日	著作権収入小テスト			
13	2月15日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音響ビジネス		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	仕事の発生から、終了後の社内業務、技術以外の業務知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス			
2	10月19日	基本的なビジネス用語について			
3	10月26日	仕事の発生、会社と会社の関係について			
4	11月2日	接客、電話対応、名刺交換、メール、FAXについて			
5	11月9日	受注と社内連絡について			
6	11月30日	社内資料の記入や、現場資料の作成について			
7	12月7日	打ち合わせ資料について			
8	12月14日	見積書の作成について			
9	1月18日	現場終了後の事務作業について			
10	1月25日	売り上げと、定期的な集計について			
11	2月1日	機材管理について			
12	2月8日	機材購入、販売仕入れ、外部レンタルについて			
13	2月15日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	直近のニュースについて⑧			
2	10月20日	直近のニュースについて⑨			
3	10月27日	直近のニュースについて⑩			
4	11月10日	直近のニュースについて⑪			
5	12月1日	直近のニュースについて⑫			
6	12月8日	直近のニュースについて⑬			
7	12月15日	直近のニュースについて⑭			
8	1月19日	直近のニュースについて⑮			
9	1月26日	直近のニュースについて⑯			
10	2月2日	直近のニュースについて⑰			
11	2月9日	直近のニュースについて⑱			
12	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	社会人としての心構え、必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	新社会人の心得			
2	10月20日	新入社員 仕事の進め方について			
3	10月27日	各種保険、年金、税金の概要			
4	11月10日	名刺交換について			
5	12月1日	仕事の目標設定について			
6	12月8日	業界の仕事の繋がりについて			
7	12月15日	来客対応の基本とコツ			
8	1月19日	上座と下座について			
9	1月26日	職場における電話対応			
10	2月2日	服装のマナー			
11	2月9日	先輩や上司との付き合い方			
12	2月16日	総まとめ			
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	評価 修得済				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ラブルシューティング演習(機材メンテナンスⅡ)	担当講師	米谷 仁		
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	音響機材のメンテナンス方法と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	授業ガイダンスとブロックダイヤグラムについて			
2	10月20日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習①			
3	10月27日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習②			
4	11月10日	各種ケーブル作成とメンテナンス方法の復習③			
5	12月1日	音響機器のメンテナンス方法①			
6	12月8日	音響機器のメンテナンス方法②			
7	12月15日	音響機器のメンテナンス方法③			
8	1月19日	メンテナンス実践①			
9	1月26日	メンテナンス実践②			
10	2月2日	メンテナンス実践③			
11	2月9日	実技テスト			
12	2月16日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 PA実習		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	PAの機材、仕事内容を理解し簡易PAシステムの設置&モニターオペレートを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明			
2	10月17日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明			
3	10月24日	仕込み図を見ての仕込み作業			
4	10月31日	仕込み作業試験			
5	11月7日	モニタースピーカー、AUX等の説明			
6	11月28日	エフェクター、AUX等の説明			
7	12月5日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)			
8	12月12日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
9	1月23日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
10	1月30日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
11	2月6日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
12	2月13日	後期試験対策他			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	2年 REC選択実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	REC選択者		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	スタジオの録音機材・基本システムについての知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	スタジオシステムの概要			
2	10月17日	調整卓の基本1			
3	10月24日	調整卓の基本2			
4	10月31日	マイクロフォン基礎1			
5	11月7日	マイクロフォン基礎2			
6	11月28日	エフェクタ基礎1			
7	12月5日	エフェクタ基礎2			
8	12月12日	ProToolsオペレーション基礎1			
9	1月23日	ProToolsオペレーション基礎2			
10	1月30日	マイクセッティング基礎			
11	2月6日	録音実践1			
12	2月13日	録音実践2			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	カラーコーディネート	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ系コース
期 間	後期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き、仕事に役立つ実践的な色彩知識を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	10月10日	授業ガイダンス	
2	10月17日	色彩基礎知識について	
3	10月24日	色の働きと色の見える仕組みについて	
4	10月31日	色の感情作用、知覚的効果について	
5	11月7日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
6	11月28日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
7	12月5日	色とイメージの関係について①	
8	12月12日	色とイメージの関係について②	
9	1月23日	カラーセラピー(色彩心理)について	
10	1月30日	色彩調和・配色技法について	
11	2月6日	ビジュアルデザインと色彩の関係について	
12	2月13日	定期試験対策	
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 照明実習		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	舞台照明の基本について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	照明機材やケーブルについて			
2	10月17日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)			
3	10月24日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて			
4	10月31日	カラーフィルターやフォーカスについて			
5	11月7日	フロア仕込みについて			
6	11月28日	フォーカスの名称について			
7	12月5日	操作卓について			
8	12月12日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて			
9	1月23日	復習仕込み			
10	1月30日	応用仕込み			
11	2月6日	実技テスト対策			
12	2月13日	実技テスト、筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	動画制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	動画制作を通して、映像全般の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	10月17日	映像の知識②。プリプロダクション①。			
3	10月24日	映像の知識③。プリプロダクション②。			
4	10月31日	機材選び。テスト撮影。リハーサル。			
5	11月7日	撮影実習①。			
6	11月28日	撮影実習②。			
7	12月5日	撮影実習③。			
8	12月12日	編集①。基本的な編集の知識。			
9	1月23日	編集②。荒編までの知識。			
10	1月30日	編集③。BGM、効果音の入れ方。			
11	2月6日	編集④。仕上げ。			
12	2月13日	試写、まとめ。			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				